

社内紹介コラム

近年、新聞やニュース等でも情報流出事件や事故が多く報道されています。

情報が流出した場合、企業の信用は失墜し、ビジネスに悪影響を及ぼします。

皆様はどのような情報セキュリティ対策を行われているでしょうか。

今回は、永田会計の情報セキュリティ対策について一部ご紹介します。

- ① 外部へデータを持ち出し、又は、外部からデータを持ち込むときには、指紋認証付きのUSBを使用し、もし紛失した時にもデータを見ることがないようにしています。
- ② メールを送る際、添付データがあるときは、1人で送るのでなくチェック者が内容と送り先を確認しています。
- ③ ネットワーク監視ソフトによって履歴をとり、誰がいつどのような操作を行ったかわかるようにしています。
- ④ ウイルス対策として、取り込み時に必ずウイルスチェックをかけています。
- ⑤ 以上の対策によっても内部者の紙による持ち出しや口頭での情報流出には対応できないため、従業員及びその同居の家族と守秘契約を結び、違反した場合には損害賠償義務を課しています。

セミナーのご案内

2月の改正税法セミナーを受講して頂いた方の多くからご要望がありましたため、6月に成立した改正法への対応をさらに詳しく、弊社代表の永田が解説する「改正税法セミナー具体策編」を企画しました。

「今、どのように対応すべきなのか？」私どもと一緒にお考えになりませんか。

日 時 平成23年10月21日

14:00~16:00

場 所 永田会計ビル4F さくらホール

募集数 50名

参加費 3,000円（消費税込）

経営に役立つメールマガジン

永田経営グループでは、定期的に皆様のお役に立つような記事をメールマガジンでも発行しております。

経営、労務、税務、会計、マーケティング、業種別情報等様々な情報を提供させていただきます。全て2、3分程度で読め、役に立つ情報です。

すぐ読め、すぐ実践していただける内容ばかりです。ぜひ、ご覧ください。

なお、配信ご希望の方は、以下のアドレス宛に空メールを送信してください。

パソコン用メールアドレスのみとなりますので、ご了承ください。

mm@nagatakaikei.co.jp



なでしこジャパンW杯優勝から学ぶ目標共有の重要性

サッカーの女子W杯優勝で全国に感動を与えた、なでしこジャパン。勝因はいろいろ考えられますが、「世界一」という目標共有と強い組織力が大きく貢献したのではないでしょうか。これは企業経営にも当てはまります。なでしこジャパンは感動だけでなく、企業経営のあり方まで教えてくれているのです。

● 「世界一」というわかりやすい目標が優勝へと導く

なでしこジャパンの澤穂希キャプテンは「北京五輪のときは、ベスト4に残れたことで満足してしまい、メダルをなんとしてでも取りにいくという気持ちで負けていた」と振り返っていました。今回は北京五輪の悔しさと、精神面での弱さを全員が克服して臨んだ大会といえるでしょう。

そこで掲げられたのが「必ずメダルを持って帰ろう。世界一になるまであきらめない」という目標。選手一人ひとりが同じ思いでないと、実現不可能だったと思われます。「優勝したい」と思うメンバーと「4位でもいいや」と思うメンバーと一緒に試合に出ても、うまくいくはずがありません。「優勝」「世界一」という、誰にでもわかりやすい目標があったからこそ、全員が一丸となって進めたのです。

これを企業に置き換えるとどうなるでしょう。社員全員が理解できる目標になっているでしょうか。ここが抽象的だったり、実現があまりにも困難な目標だと、社員の心に響きません。具体的な数値を使い、目標達成のために具体的にどのような行動を起こせばいいのか、目標達成の先に何があるのかをトップが社員全員に伝えられることが重要なのです。

● 目標を社員の心に響く言葉に置き換える

具体的な目標を掲げていても、社員の心に響いていないと思われる場合は、目標そのものを別の言葉に置き換えることをおすすめします。

例えば「売上2億円」という業績目標に対して、社員の反応がイマイチの場合は、目標を売上から顧客数に換算してみてはいかがでしょう。特に技術者が

多い業種は、売上が上がることよりもユーザー・顧客数が増えることに関心が高い傾向にあるので効果的です。

目標設定が大事なのは、スポーツでも企業経営でも同じ。社員の心に響く目標を探し出し、それをわかりやすく伝えるのは、経営者の重要な仕事なのです。

